

平成30年度第1回臨床研究部研修会
-第72回国立病院総合医学会予演会-

開催報告

2018年10月29日(月)

時間：17:45~19:15

会場：第一会議室

参加人数 43名

Program

1.長野 とし子

外来看護師の仕事に対する満足度調査

2.殿水 薫

リハビリテーション科によるBasic Life Support

3.久後 瑛梨奈

『食事をしながら健康教室』の健康維持改善効果の検討

4.田城 麻希

Mechanical insufflation-exsufflation (MI-E) に効果がみられた誤嚥性肺炎患者の特徴

5.川角 彩香

トレーシングレポート(お薬伝言板)を用いた地域連携への貢献

6.金崎 美貴

高齢者におけるラムシルマブの安全性

7.高野 誠

認知症高齢者の入院時カンファレンスに介護支援専門員を交えることの効果

2018年 第一回臨床研究部研修会を終えて

本年も臨床研究部の第一回研修会を開催することができ、皆様方のご協力に感謝申し上げます。例年のごとく、国立病院総合医学会で発表する演題を「予行演習」としてご発表いただきました。さまざまな職種の発表があり、まったく知識のない話題もあり、理解不十分ではありますが、個人的には当院職員がさまざまな視点で医療を見据えていることが垣間見えました。今回の学会のコンセプトが、「多様性のなかに個が輝く」ということであり、病院という大きな組織のなかでお互いに見聞きすることがない分野を共有するよい機会であったと思われまふ。やはりお互いが何をしているのか、何を考えて医療に貢献しているのかを知ることがまず大切であり、それがうまくできている組織こそ円滑に全体の動きがとれるものと考えています。災害訓練であり、学会発表であり、お互いの手の内を知ることにより、連携がとれて解決できていくことも出てくるのが期待されます。臨床研究部研修会というお堅い名前ではありますが、コンパクトに職員が行っていることをアピールし、相互理解を深めることによって、病院運営が少しでもよい方向にむかうための一つの機会であります。たとえ研究発表という一見病院運営とは無関係に思われる形式でも、最終的には患者のための医療に役立つ可能性があるものと考えています。第二回も開催方法を工夫して、当院をよりよくするために少しでも役立つ会にしたいと願いますので、ご参加ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今回ご参加いただいた方々、ご発表いただいた方々には深く御礼申し上げます。

臨床研究部 橋爪俊和

